## 自動車騒音(指標22資料)

幹線道路に面する地域における環境基準の達成状況を把握するため、騒音規制法第18条に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。

延長 2,546.2km の主要幹線道路に面する影響を受ける地域のうち、89,910 戸の住居等について調査した結果は表1のとおりであり 84,430 戸(全体の 93.9%)の住居等で環境基準を達成し、平成 24 年度の全国集計値(92.6%)を上回る結果であった。

表1 環境基準達成状況の評価結果

	評価区間延長	評価区間数	評 価 結 果 (単位:戸)								
			<b>公民祭司粉</b>	昼夜とも	昼のみ	夜のみ	昼夜とも				
	(単位:km)	(単位:区間)	住居等戸数	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値超過				
高速自動車国道	66.7	43	781	774	1	1	5				
同还日期平凶坦	00.7	43	701	(99.1%)	(0.1%)	(0.1%)	(0.6%)				
一般国道	一般国道 928.2		34,579	31,618	612	322	2,027				
加又四足	320.2	374	34,579	(91.4%)	(1.8%)	(0.9%)	(5.9%)				
県 道	1 540 7	419	E2 044	50,332	132	736	1,744				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1,540.7	419	52,944	(95.1%)	(0.2%)	(1.4%)	(3.3%)				
4 車線以上の			2.000	2,794	59	47	102				
市町村道	10.6	12	3,002	(93.1%)	(2.0%)	(1.6%)	(3.4%)				
(注)	0.546.0	040	00.010	84,430	795	1,043	3,642				
合 計	2,546.2	848	89,910	(93.9%)	(0.9%)	(1.2%)	(4.1%)				

<sup>(</sup>注) 合計欄の戸数は、複数評価区間の重複計上分を除いて計上している。

# 水環境(指標24,25資料)

## (1) 公共用水域の水質測定結果の概要

## • 健康項目

カドミウム、全シアン等 27 項目の健康項目について、河川 75 地点、湖沼 10 地点、海域 25 地点で調査した。結果は、表 1 のとおりである。砒素が 4 河川 5 地点で環境基準を超過した。八坂川は上流の休廃止鉱山、大分川・朝見川・町田川については上流域の温泉に起因する自然的なものが原因と思われるが、いずれも水道水等利水上の影響は生じていない。 その他の項目は全て達成した。

表1 健康項目に係る環境基準の達成状況

区分	調査地点数	超過地点数		超過	平均值	基準値		
	<b>神鱼地点数</b>	妲则地点数	河川名	調査地点	測定回数	超過項目	(mg/l)	(mg/l)
河川			大分川	かわにしばし川西橋	6回/年	砒素	0.011	
			八坂川	だいそうばし 大左右橋	6回/年	砒素	0.015	
	75(62)	5(5)	八坂川	ながせばしした 永世橋下	6回/年	砒素	0.014	0.01
			朝見川	<sup>とうすけ</sup> ばし 藤 助橋	6回/年	砒素	0.014	
			町田川	< ぐ が 本  石橋	6回/年	砒素	0.021	
湖 沼	10(10)	0				_		
海域	25(25)	0	_	_	_	_	_	_
合 計	110(97)	5(5)	_	_	_	_	_	_

<sup>( )</sup>内は大分市内を除いた数(再掲)

## • 生活環境項目

河川におけるBOD(生物化学的酸素要求量)、湖沼及び海域におけるCOD(化学的酸素要求量)については、環境基準点を 定めている河川43水域、湖沼2水域、海域21水域で調査した。結果は、表2のとおりである。

環境基準達成率は、河川が83.7%、湖沼100%、海域が66.7%であった。

達成しなかった水域は、河川では犬丸川、伊呂波川、武蔵川、丹生川上流、大野川下流、臼杵川及び町田川の7水域、海域では豊前地先海域、響灘及び周防灘、国東半島地先水域、別府湾中央水域、臼杵湾、津久見湾、南海部郡地先の7水域であった。

これは、生活排水のほか、夏期の降水量が少なかったことの影響が推察される。

表 2 生活環境項目に係る環境基準の達成状況

		25 年度		24 年度	23 年度	24 年度全国
区分	類型指定水 域 数	(注) 達 成 水域数	達成率 (%)	達成率 (%)	達成率 (%)	達成率 (%)
河川(BOD)	43(37)	36(32)	83.7	95.3	95.3	93.1
湖 沼 (COD)	2(2)	2(2)	100	100	50.0	55.3
海 域 (COD)	21(21)	14(14)	66.7	81.0	95.2	79.8
合 計	66(60)	52(48)	78.8	90.9	93.9	88.6

## ( )内は大分市内を除いた数(再掲)

(注)未達成水域 河川:犬丸川、伊呂波川、武蔵川、丹生川上流、大野川下流、臼杵川、町田川

海域: 豊前地先海域、響灘及び周防灘、国東半島地先水域、別府湾中央水域、臼杵湾、津久見湾、南海部郡地先

平成25年度汚水処理人口普及状況総括表 (指標26資料)

市町村名	住民基本台帳	H25年度末	音及小の H25年度末	下水	1日1示 4	6 資料	/	農業集落	非水施設等				合 併 処	理浄(	7. 槽 等		п 3	プラ
H26. 3. 31現在	人口 H26. 3. 31現在	汚水処理人口	汚水処理 人口普及率	H25年度末 下水道	H25年度末 下水道	H25年度末	H25年度末	H25年度末	H25年度末	H25年度末 農排等	H25年度末 農排等	下水道の処理開 浄化槽	始公示済区域タ 浄化槽設置	ト 民間設置	住宅用途 合併処理	H25年度末 浄化槽	H25年度末 コミプラ	H25年度末 コミプラ
1120. 3. 319%年	1120. 3. 31%红	77小戏生八日	八日百及华	処理人口	下水道 整備率	農排	漁排	林排	簡易排水	整備人口	整備率	市町村整備	整備事業	済人口	浄化槽	人口普及率	処理人口	処理人口
						整備人口	整備人口	整備人口	整備人口			推進事業等 設置済人口	設置済人口		設置済人口			普及率
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)		(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)
大分市	477, 640	368, 382	77.1%	286, 096	59.9%	1,932		0	0	1,932	0.4%		46, 953	33, 401	80, 354	16.8%	<u> </u>	0.0%
別府市	121, 026	91, 719	75.8%	78, 600	64.9%			0	0	0	0.0%		1,870	11, 249	13, 119	10.8%		0.0%
of a Nefe when			o= o*		0.0 00/	. ===				. ===	= 40/		4					0.00/
中津市	85, 407	57, 451	67.3%	32, 736	38.3%	4, 585		0	0	4, 585	5. 4%		17, 089	3,041	20, 130	23.6%	<del>                                     </del>	0.0%
	60 500	F	00.00/	45 605	CE EN	0 540		0		0.540	0.70/	400	0.150	700	0.050	10 50/	0.1	0.10/
日田市	69, 702	57, 692	82. 8%	45, 687	65. 5%	2, 546		0	0	2, 546	3.7%	496	8, 150	732	9, 378	13.5%	81	0.1%
佐伯市	76, 712	53, 342	69. 5%	24, 151	31.5%	7, 769	2, 429	0	0	10, 198	13.3%	3, 982	13, 523	1, 488	18, 993	24. 8%		0.0%
1左1日1月	10, 112	55, 544	09. 5%	24, 131	31. 5%	1, 109	2, 429	0	U	10, 190	13. 3%	3, 902	15, 525	1,400	10, 995	24.0%		0.0%
臼杵市	41, 300	25, 866	62.6%	18, 896	45.8%	1, 495	125	0	0	1,620	3. 9%	1, 011	3, 976	363	5, 350	13.0%		0.0%
H11111	41, 500	20,000	02.0/0	10,090	40.0/0	1, 490	123	0	0	1,020	5. 5/0	1,011	5, 510	303	0, 550	13.0%		0.0%
津久見市	19, 562	12,621	64. 5%	10, 246	52. 4%			0	0	0	0.0%		1, 108	1, 267	2, 375	12. 1%	•	0.0%
1-77/2011	10,002	12,021	01.070	10,210	02. 1/0				, and the second		0.070		1,100	1,201	2,010	12.1/0		0.070
竹田市	24, 074	11, 035	45. 8%		0.0%	1, 978		0	0	1,978	8. 2%	2,677	5, 684	135	8, 496	35. 3%	561	2.3%
1.1	21, 011	11,000	10.070		0.070	1,010			·	1,010	0.270	2, 0	0,001	100	0, 100	00.00	001	2.070
豊後高田市	23, 577	17, 458	74.0%	11, 412	48.4%	830	84	0	0	914	3. 9%	4	3, 884	1, 244	5, 132	21.8%	•	0.0%
	,	,		,										,				
杵築市	31, 104	17, 051	54.8%	9, 569	30.8%	2, 239		0	0	2, 239	7. 2%	448	3, 374	1, 421	5, 243	16.9%		0.0%
宇佐市	59, 485	34, 866	58.6%	16, 054	27.0%	3, 953		0	0	3, 953	6.6%		8, 764	6, 095	14, 859	25.0%		0.0%
豊後大野市	38, 957	21, 374	54.9%	1, 222	3.1%	3, 209		0	0	3, 209	8. 2%	3, 064	11, 146	2, 733	16, 943	43.5%		0.0%
由布市	35, 661	23, 487	65.9%	977	2.7%	1, 462		0	0	1,462	4.1%	831	13, 355	6, 862	21,048	59.0%		0.0%
国東市	30, 825	21, 485	69. 7%	16, 328	53.0%	399		0	0	399	1.3%	518	3, 887	353	4, 758	15.4%		0.0%
姫島村	2, 259	2, 259	100.0%	1,890	83. 7%		369	0	0	369	16.3%				0	0.0%	<u> </u>	0.0%
																	'	
日出町	28, 596	21, 286	74.4%	15, 615	54.6%	984	884	0	0	1,868	6. 5%		1, 512	2, 291	3, 803	13.3%	<del>                                     </del>	0.0%
I. etcm-			.=									_					[ '	
九重町	10, 284	4, 641	45. 1%		0.0%			0	0	0	0.0%	54	3, 176	1, 411	4, 641	45.1%	<del></del>	0.0%
Th TH m=	10.505		40 50		0.00/			_	_	_	0.00/					40.50	[ '	0.001
玖珠町	16, 735	7, 151	42. 7%		0.0%			0	0	0	0.0%		7, 151		7, 151	42. 7%		0.0%
· □ → →	1 102 006	940 166	71 00/	EGO 470	47 70/	22 201	2 001	0	0	27 279	9 10/	12 005	154 600	74 000	941 779	20. 20/	649	0.1%
県 計	1, 192, 906	849, 166	71. 2%	569, 479	47.7%	33, 381	3, 891	0	0	37, 272	3. 1%	13, 085	154, 602	74, 086	[241, 773]	20.3%	642	<u> </u>

## 一般廃棄物処理の推移(指標33資料)

年度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
行政人口(人)		1,218,666	1,221,511	1,216,425	1,213,921	1,205,597	1,204,155	1,205,534
排出量	ごみ総排出量	471,185	444,801	422,285	415,379	406,675	411,956	416,670
外山里	1人1日あたり排出量(g/人・日)	1,059	995	951	937	924	935	947
	直接焼却(t/年)	352,620	337,641	321,172	314,208	315,250	320,316	324,544
	直接埋立(t/年)	33,584	3,954	2,213	3,130	3,968	3,017	3,115
処理量	直接資源化(t/年)	36,919	37,331	33,615	28,106	28,053	27,203	13,330
处垤重	高速堆肥化(t/年)	0	688	1,110	757	650	683	878
	その他(t/年)	51,248	55,611	54,448	58,268	52,217	51,900	65,549
	合計(t/年)	474,371	435,225	412,558	404,469	400,138	403,119	407,416
	集団回収量(t/年)	8,887	8,441	8,766	8,472	8,215	7,461	7,172
	中間処理後再生利用量(t/年)	42,112	48,344	44,339	48,638	45,242	52,077	64,184
資源化量	資源化量(t/年)	79,031	85,675	77,954	76,744	73,295	79,280	77,514
	資源化率(%)	16.7	19.7	18.9	19.0	18.3	19.7	19.0
	リサイクル率(%)	18.2	21.2	20.6	20.6	20.0	21.1	20.4

<sup>※</sup>資源化率=資源化量/ごみ処理量

リサイクル率=(資源化量+集団回収量)/(ごみ処理量+集団回収量)

## 産業廃棄物処理の推移(指標34資料)

	年度	H9	H12	H17	H21
	排出量(千t/年)	3,684	3,623	3,866	3,953
	うち動物のふん尿及び鉱さいを除いたもの	2,244	2,365	2,652	2,742
再	生利用量(千t/年)	1,623	1,720	2,234	2,523
	うち動物のふん尿及び鉱さいを除いたもの	477	730	1,405	1,524
	再生利用率(%)	44.1	47.5	57.8	63.8
	うち動物のふん尿及び鉱さいを除いたもの	21.3	30.9	53.0	55.6

<sup>※</sup>産業廃棄物処理の推移は、廃棄物処理計画策定時に調査

## 大分県内の

# 2011(平成23)年度の温室効果ガス排出量(速報値)(概要版)

## (1) 温室効果ガス排出量

- ●2011年度の県内における温室効果ガス排出量は、3,905万4千tCO2。
- ●1990年度比1.0%減、2008年度比15.1%増、前年度比6.0%増となっている。

#### 県内の温室効果ガス排出量

単位: 千t-CO,

	基準年	2008	2010 (H22)	2011 (H23)	2015	2011年度增加率			全国・2011年度
	(1990)	(H20)			目標 (対08)	対基準 年度	対2008 年度	対前年度	増加率 (対前年度)
温室効果ガス排出量	39,458	33,922	36,827	39,054	-	-1.0%	15.1%	6.0%	4.0%
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	38,574	33,182	36,261	38,457	_	-0.3%	15.9%	6.1%	4.2%
産業部門(製造業、鉱業等)	30,634	24,764	28,334	29,788	and the same of	-2.8%	20.3%	5.1%	-0.5%
家庭部門	1,306	1,417	1,490	• 1,893	-7%	44.9%	33.6%	27.0%	9.8%
業務部門(オフィスビル、商業施設等)	1,199	1,326	1,306	• 1,756	-4%	46.5%	32.4%	34.4%	14.3%
運輸部門(自勁車、鉄道等)	2,097	2,818	2,738	2,712	-6%	29.3%	-3,8%	-1,0%	-1,0%
廃棄物部門(廃棄物の焼却等)	168	239	209	220	_	30.6%	-8.1%	5.1%	-0.2%
工業プロセス部門(セメント製造等)	3,170	2,618	2,183	2,088	-	-34.1%	-20.2%	-4.3%	0.1%
メタン(CH <sub>4</sub> )	344	303	303	293	-	-14.9%	-3.4%	-3.4%	-2.1%
一酸化二窒素(N₂O)	290	242	143	141		-51.2%	-41.6%	-1.1%	-1.7%
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	23	29	15	16		-28.2%	-42.8%	7.4%	11.8%
パーフロオロカーボン(PFC)	193	147	91	125	-	-35.2%	-14.7%	37.4%	-11.5%
大フッ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	34	18	14	21		-38.6%	13.6%	47.8%	-12.1%
森林吸収量(前年からの増加分)	2,418	3,146	1,245	1,238		-48.8%	-60.6%	-0.5%	

電力のCO2排出原単位(kg-CO2/kWh) 0.436 0.374 0.385 0.525

- ※ 県内の温室効果ガス排出量は、毎年公表される統計データをもとに算定。
- ※ 基準年:京都議定書の規定による基準年。CO2、CH4、N2Oは 1990 年度、HFC、PFC、SF6は 1995 年度
- ※都道府県別エネルギー消費統計の更新により2010年度の温室効果ガス排出量を修正している。

## (2) 二酸化炭素排出量

- ●2011年度の県内における二酸化炭素排出量は、3,845万7千tCO2。
- ●1990年度比0. 3%減、2008年度比15. 9%増、前年度比6. 1%増となっている。

## <前年度からの増減の主な要因>

- 〇産業部門: + 5. 1% (145万4千 t-CO2增)
  - ・電力のCO2排出原単位の上昇による電力消費に伴う排出量が増加
- ○家庭部門:+27.0%(40万3千 t-CO2增)
  - ・電力のCO2排出原単位の上昇による電力消費に伴う排出量が増加
- 〇業務部門: +34.4%(45万 t-CO2增)
  - ・電力のCO2排出原単位の上昇による電力消費に伴う排出量が増加
- ○運輸部門:- 1.0%(2万6千 t-CO2減)
  - ・貨物車の使用に伴う排出量が減少



お問い合わせ(お便りBOX)

よくあるご質問

サイトマップ

サイト内検索

検索 ENGLISH

ホーム

個人のお客さま 法人のお客さま

株主・投資家の皆さま

原子力・環境・エネルギー

九電みらいの学校

企業情報

ホーム > 原子力・環境・エネルギー > 環境への取組み > 当社CO2排出係数 > 平成24年度のCO2排出係数について

#### 環境への取組み

## 平成24年度のCO2排出係数について

九州電力グループ環境 憲章

九州電力グル―プ環境 アクションプラン

九州電力環境アクショ ンレポート

九州電力環境顧問会

当社CO2排出係数

地球温暖化対策計画 書•報告書

九州グリーン電力基金 事業の終了について

九州ふるさとの森づくり

エコ・マザー活動

環境教育支援活動

環境月間

石綿の使用状況

PCBの適正処理につい て

環境アセスメント(環境 影響評価)の実施

九電グループ環境経営

#### 原子力情報

## 電気をお届けするために

▲ このマークはAcrobat PDF形式のデータを 意味します。ご覧いただく には、Adobe Reader(無 料)が必要です。



## 温対法に基づく当社のCO2排出係数(平成24年度)について

当社は、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」に基づき、平成24年度のCO2排出係数(販売電力量あたりのCO2排出量)が「0.599kg-CO2 / kWh」となることを政府へ報告しております。

なお、当社のCO2排出係数は、平成25年12月18日に「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」における電気事業者別のCO2排出係数として、官報にて公表されております。

<九州電力のCO2排出係数(平成24年度実績)>

[CO2排出クレジット等反映前]

•CO2排出量

5,130万t

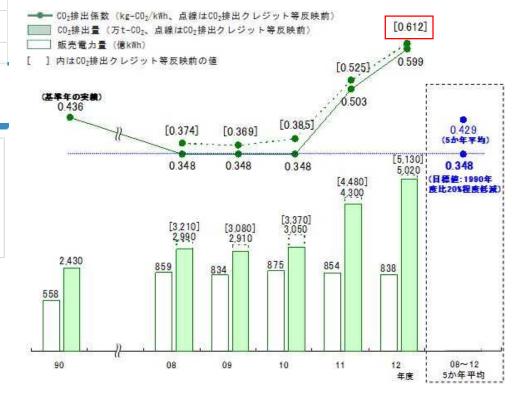
•CO2排出係数 0.612 kg-CO2 / kWh

[CO2排出クレジット等反映後]

•CO2排出量 5,020万t

■CO2排出係数 0.599 kg-CO2 / kWh

【販売電力量、CO2排出量、CO2排出係数の推移】



─ このページの先頭へ